



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

不安と生の研究会

「不安」から照らす「生」の諸相 — ことば・こころ・肉体…

2026年度 愛知県立大学 「不安と生の研究会」主催講演会

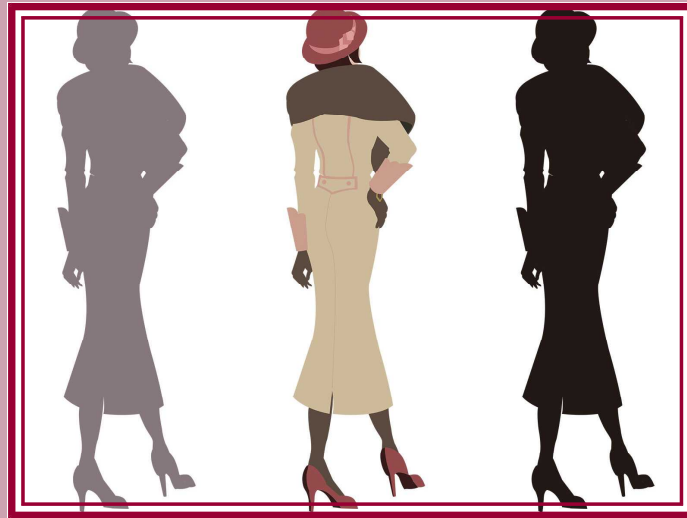
協力：公益財団法人上廣倫理財団

モード誌『スタイル』と宇野千代

モダニズムの時代から戦時下へ

和田博文氏

(東洋大学名誉教授)



2026年12月6日(日) 13時30分～15時30分

愛知県立大学長久手キャンパス S101 教室 & On-line

■要申し込み 【対面】

12月4日(金)まで



【On-line】



■問い合わせ先 愛知県立大学「不安と生の研究会」

kendaifs2026@gmail.com

企画趣旨

国内外にわたるモダニズム研究の第一人者として名高い和田博文東洋大学名誉教授を招き、最新の研究成果（『モード誌と戦争—宇野千代が『スタイル』で描いた夢』2025.3 平凡社）である宇野千代と彼女の主宰した戦時下のモード誌をとおして、困難な時代の中で、人々が潤いをみずから創出し、保持しながら生きてゆくことの様相と意義を照らす。

折しも、2026年は戦後80年を経過した年であるのに加え、宇野千代を主人公とした「NHK 2026年度後期・朝の連続ドラマ小説・ブラッサム」の放映が決定、さらに、愛知県西尾市出身で知られる文豪尾崎士郎が伴侶であったこともあり、地域の関心喚起とともに、不安と困難に拮抗する、しなやかで美しく、活気あるひとの生き方や文化へのいざないとしたい。

愛知県立大学「不安と生の研究会」

和田博文氏 略歴

1954年横浜市生まれ。東洋大学名誉教授。東京女子大学で副学長・比較文化研究所長・丸山眞男記念比較思想研究センター長を歴任。専門は文化史・比較文化・日本近現代文学。ロンドン大学 SOAS、パリ第7大学、復旦大学大学院の客員研究員や客員教授を務めた。

著書に『漫画家が見た百年前の西洋—近藤浩一路『異国膝栗毛』の洋行』（筑摩選書）、『日本人美術家のパリ 1878-1942』（平凡社）、『三越誕生!—帝国のデパートと近代化の夢』（筑摩選書）、『海の上の世界地図—欧州航路紀行史』（岩波書店）、『シベリア鉄道紀行史—アジアとヨーロッパを結ぶ旅』（筑摩選書、交通図書賞）、『資生堂という文化装置 1872-1945』（岩波書店）、『飛行の夢 1783-1945—熱気球から原爆投下まで』（藤原書店）など。

編著に『石の文学館』『森の文学館』『星の文学館』『月の文学館』『猫の文学館Ⅰ・Ⅱ』（以上、ちくま文庫）、『近現代日本思想史「知」の巨人100人の200冊』（平凡社新書、共編）など。

監修に『コレクション・モダン都市文化』全100巻（ゆまに書房）、『ライブラリー・日本人のフランス体験』全21巻（柏書房）、『コレクション・日本シュールレアリスム』全15巻（本の友社）など。

（『モード誌と戦争—宇野千代が『スタイル』で描いた夢』2025.3 平凡社 より）

■「不安と生の研究会」は10周年を迎えました。

10周年記念企画「ひろがる、愉しみ。十年目の「不安」と「生」の模様を、
本学HPにて公開しています。ぜひ、ご覧ください。

「愛知県立大学 「不安と生の研究会」 10周年記念動画」

<https://www.youtube.com/@AichiPrefecturalUniv/videos>



不安と生の研究会